

ごうつ

# 市議会だより

題字：大崎 璃香さん（江津高校2年）

2017.11  
No.133

阿刀城址につづく小径（跡市町）



# 平成28年度 決算認定

決算特別委員会を設置し、「地方創生・人口減少問題」に重点を置き編成した平成28年度予算の執行状況を審査

(委員長：藤田厚／副委員長：島田修二／委員：議長・監査委員を除く全議員)

## 平成28年度 一般会計・特別会計の決算状況

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		170 億 5053 万円	165 億 4710 万円
特別会計	国民健康保険事業	35 億 3069 万円	33 億 9614 万円
	国民健康保険診療所事業	301 万円	300 万円
	後期高齢者医療事業	7 億 6506 万円	7 億 6463 万円
	公共下水道事業	9 億 200 万円	8 億 9549 万円
	簡易水道事業	1 億 9971 万円	1 億 9948 万円
	農業集落排水事業	2 億 3688 万円	2 億 3687 万円

### 水道事業会計 の決算状況

	収入総額	支出総額
収益的収支	7 億 3365 万円	6 億 8373 万円
資本的収支	1 億 5936 万円	3 億 8275 万円

## 一般会計の主な事業

### 副次拠点施設整備事業

5億3739万円



耐震補強工事を行った桜江総合センター

### 若者交流拠点整備事業

1500万円

若者の定住・仕事探し・仲間づくりの拠点整備により、若者の定住を促進するもの。

#### 質 問

**問** 52ビルディング1階のチャレンジショップで創業しているが、2年間の契約期間満了後、創業者はどうなるのか。

**答** チャレンジショップの管理運営については、NPO法人でとねっと石見が行っており、経過後の延長についても検討されている。

## 不燃物処理場費

# 2億8047万円

島の星クリーンセンター最終処分場のかさ上げ工事および浸出水処理施設改修工事費。



島の星クリーンセンターへの現地調査

### 質 問

**問** 施設利用期間がどのくらい延長されるのか。

**答** 今回の工事は第一期工事で、約13年延長される。その後、第二期工事を行うことにより、さらに10年延長できる。

## 中心市街地整備事業

# 5億4981万円

江津駅前再生整備計画の拠点施設である公共複合施設の建設工事と備品購入費など。

### 質 問

**問** パレットごつうの利用状況は。

**答** 平成28年8月にオープンし、8カ月で5万人ちかくの人に利用されている。想定の1.5倍となっている。

## 有福温泉総合観光開発事業

# 8749万円

回遊ゾーンなどの整備を行うとともに、火災跡地を駐車場に整備し、集客の向上を図る。

## 学校給食費

# 1億337万円

市内小中学校・幼稚園に対して、安心安全で栄養バランスを考慮した給食を提供するもの。

## 決算要望事項

### ■一般会計・特別会計

#### 1. 地方創生・江津市版総合戦略

中心市街地の活性化・交流人口の拡大・商業の活性化、定住につながる子育て支援策の検討・充実、持続可能な地域公共交通網、障がい者の社会参画を促す施策の推進など9項目

#### 2. 行財政

適正な公共施設の管理及び行政評価・人事評価制度や公共施設等管理計画の整合性を図り、新たな行財政改革実施計画の策定

#### 3. 教育行政

学力向上及び教育力向上、教育環境の向上・施設整備など3項目

#### 4. 地域医療・介護予防・健康増進対策

医師・看護師確保などの地域医療体制の充実、健康意識の啓発及び具体的施策の実施の2項目

#### 5. 国民健康保険事業

保健事業の充実による医療費抑制・国保会計広域化への対応

#### 6. 公共下水道事業

抜本的な計画の早期見直し

### ■水道事業会計

経営成績や財政状況を分析し、将来的な健全経営への対応



## 「新庁舎建設事業」「三江線代替バス事業」など 緊急を要する事業を中心に編成

補正予算額 **7億7429万円**(総額155億5964万円)

### 新庁舎建設事業



江津警察署東隣の新庁舎建設予定地

## 3億5840万円

新庁舎建設にむけての基本設計・実施設計  
及び用地取得費など。

#### 質 問

**問** 基本設計・実施設計・敷地造成工事を3点  
セットで提案する理由は。

**答** 候補地は人工的に盛られた場所で、下には  
廃棄物がある。早期に造成の実施設計をし  
て、更地にしてあれば調査をしやすく、今  
後のスケジュールに支障が出ない。

### 三江線代替バス事業

## 2億5200万円

三江線廃止にともなう、JR西日本からの  
代替バス運行準備交付金。

#### 質 問

**問** JR西日本からの歳入が決まらないとでき  
ないが、今議会終了までに決着するのか。

**答** 着手しなくてはいけない場所についての予  
算は、確約してもらうよう考えているが、総  
額についてはもう少し時間がかかるものと  
思われる。

### 企業立地推進事業

## 5000万円

江津工業団地の区画内に新たに進入道路を  
整備するもの。

#### 質 問

**問** 将来のための市道整備は必要か。

**答** 企業誘致をするには必要と考える。

# 委員会 ピックアップ



総務文教委員会

## ●固定資産税の課税免除に関する条例

免除対象から、情報通信技術利用事業を除き、農林水産物等販売業を追加するもの。

### 委員質問

**問** 改正後に追加される対象事業所数はどうなるのか。

**答** 新設または増設で2700万円以上の投資をされた事業所が対象となり、ただちに対象となる農林水産物等の販売所はない。

建設厚生委員会

## ●森林総合公園風の国設置管理条例

団体貸切営業の実施にともない、各施設の利用料金などの一部を変更するもの。

### 委員質問

**問** 平日の貸切予約で効果が出なかった場合、経営に影響を与え、逆効果となるが、どのくらいこの方法で様子を見るつもり

**答** 経営を行う株式会社風の国が、非常に強い危機感を抱いて今回の変更へと決断された。今後については、市と株式会社風の国とで協議しながら進めていきたい。

## ●建設工事委託協定締結

公共下水道江津西処理場の増設工事について、日本下水道事業団に委託するもの。

### 委員質問

**問** 随意契約による協定であるが、市が適正価格だと判断するまでにどのような協議を行って決定したのか。

**答** 前年も平成22年度から平成24年度まで、日本下水道事業団と随意契約による協定で増設工事を行っており、その実績に基づいて行っている。

国へ意見書を提出

## 地方の道路整備(社会資本整備)促進を求める意見書

1. 地方の安全・安心な生活の確保と定住人口の増加、地域活力の向上に資するため、平成30年度の社会資本整備に必要な予算総額を十分確保すること。
2. 社会資本整備が迅速かつ着実に進むよう、平成29年度補正予算を編成すること。
3. 社会資本整備が遅れている地域の実態に鑑み、地方に予算を重点配分すること。
4. 道路整備の推進により「安全・安心な生活の確保」や「生産性の向上による成長力の強化」を実現するため「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」による嵩上げ措置を平成30年度以降も継続すること。



議決結果		坪内涼二	鍛冶恵巳子	田中利徳	多田伸治	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	島田修二	石橋孝義	河野正行	藤田厚	土井正人	永岡静馬	田中直文
議案番号	件名	議決結果													
同意第15号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第16号	教育委員会委員の任命について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第17号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分報告について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	江津市個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	江津市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	江津市税条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	森林総合公園風の国設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	江津市奨学基金条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	建設工事委託に係る協定の締結について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成29年度島根県江津市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	●	●	△	○	○	●	○	○	○	○
議案第50号	平成29年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成29年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成29年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成29年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成29年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成28年度島根県江津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成28年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成28年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成28年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成28年度島根県江津市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成28年度島根県江津市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成28年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	平成28年度島根県江津市水道事業会計決算の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
意見第3号	地方の道路整備(社会資本整備)促進を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

# 本会議 における 賛成・反対意見

## 議案第46号 | 森林総合公園風の国設置及び管理に関する条例

**反対** 森川 佳英

風の国の経営改善のため、平日の利用を団体客の貸切のみとし、一般客は受け入れないとの方針変更にあわせ、利用料を概ね1.5倍以上値上げすることを可能にする条例案だが、消費不況のなかで値上げが経営改善につながるか疑問。また、これまで多額の税金を投入された風の国が、市民の利用を制限することは認められないため反対。

**賛成** 河野 正行

提案は、あくまで風の国が平日の団体貸切営業という、新たな取り組みを実施するために、使用料の上限の幅を広げるのであって、一概にすべて利用料を値上げるものではない。団体貸切料金についても、利用者の人数や料理のプラン内容の多様化など、利用者のニーズに柔軟に対応できるため賛成する。

可決

## 議案第49号 | 平成29年度一般会計補正予算

**反対** 多田 伸治

新庁舎建設の設計費が計上されているが、設計は現庁舎よりも津波や液状化現象の危険が増大するシビックセンターへの移転に基づくもので、災害対策が最大の目的である市庁舎整備計画に反する。また、誘致の決まっていない企業のための不急の市道整備や、低収入の保育士の処遇を是正しないなど、問題がある予算案であるため反

**賛成** 坪内 涼二

新庁舎建設事業は、防災機能が万全なものであること、主要な財源である合併特例債には期限があり使わなければならないこと、また、津波や液状化現象の問題についても十分検証されていることなど丁寧に説明を受けている。できるだけ早く庁舎建設に取り掛かるべき。その他も必要かつ緊急を要す予算であり賛成。

可決

## 認定第1号 | 平成28年度 一般会計 決算

**反対** 多田 伸治

平成28年度だけで整備費5億5000万円を支出したパレットごうつは、市民の評価が低だけでなく、経済効果が把握されていないなど、まともな決算とは言えない。さらに、生活交通バスは充実されず、2億7200万円を投入した済生会の改革もできず、住宅の耐震化も進んでいない決算では、市民の納得は得られないため反対。

**賛成** 鍛冶 恵巳子

平成28年度決算は、「江津市版総合戦略の諸事業」、「済生会江津総合病院への、医師確保対策などの支援」など、市民の方に直接影響のあるもの、その他、江津市にとって必要な様々な事業が予算化され適正に執行された結果であり、一定の成果もあったと思えるので賛成。

認定

## 認定第2号 | 平成28年度 国民健康保険事業特別会計 決算

**反対** 森川 佳英

平成28年度には国保料の値上げをしているが、前年にくらべて2ケタ増となる、1億3455万円の黒字であり、値上げなしでも運営できていた。また、厳しい保険料の取り立てによる市民の生活への影響、病気予防でのメタボ検診の受診率や健康相談・訪問指導件数の低下があり、十分な取り組みとなっていないため反対。

**賛成** 田中 利徳

保険料率算定の対象となる医療費が大きく増加したために大幅な保険料率改定になったが、歳入面では1%以上収納率が向上している。保健事業は、結果がすぐに出るものではないが、粘り強く、継続的な啓発を行い、被保険者の健康意識の向上に努められ、それによる医療費の適正化を期待し、賛成。

認定

## 認定第4号 | 平成28年度 後期高齢者医療事業特別会計 決算

**反対** 多田 伸治

年金が削られ高齢者は生活が厳しくなっており、市も把握しているが、事業主体である島根県後期高齢者医療広域連合に対して、市民の苦境への対策を求めることさえせず、「広域組合の事業運営は正しく、だから言うべきこともない」と開き直った。市民を省みることなく執行された事業会計の決算に反対する。

**賛成** 森脇 悦朗

県内のすべての市町村が加入する「島根県後期高齢者医療広域連合」は運営主体で、被保険者の資格管理・医療給付・保険料の賦課などを行っており、市は収納した保険料や医療給付費の市負担分などを広域連合へ納付している。事務が適正に執行されていると思われるため賛成。

認定

# 一般質問

## 市議の

## 市の

# Q & A



※原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたもので、一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見るができます。  
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと  
暮らしやすくするには、  
こうしたらいいな

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

## Q

新庁舎の建設は

## A

合併特例債を使い  
江津警察署東隣に建設

## A Q

現庁舎の現状は  
築55年が経過し、震度5弱の地震でも相当な被害を受ける。

## Q

新庁舎建設予定地での津波の心配は。

## A

新庁舎の建設予定地は、海抜が7mある。最新の知見を読み取っているので心配はない。

## Q

シックセンターでの液状化現象の心配は。

## A

危険度は比較的低い。

## Q

市庁舎整備についてのパブリックコメント(意見公募)での意見は。

## A

自然災害を心配する意見が11件、財源や工事費削減に関する意見が4件、新庁舎建設賛成が2件、現庁舎の活用に関する意見が5件だった。



視察を行った高梁市役所(平成27年竣工)



河野 正行

## Q

西部統合小学校建設への影響は。

## A

年度によって市債の返済額が極端に増減しないようにするため、2年程度先延ばしになる。



# Q

市庁舎整備計画に  
市民の声の反映を

# A

パブリックコメント(意見公募)を踏まえている

# Q

市庁舎整備計画で市民の意見を参考に。パブリックコメント(意見公募)では、シビックセンターへの移転に賛成意見3件、反対意見12件だった。反対意見は津波や液状化現象の危険を訴えている。市民の不安の声を計画に反映しないのか。

# A

市民説明会やパブリックコメントでの意見を受け、専門家に確認しており、それらを踏まえている。様々な要素を総合的に勘案して、移転がベターと決定した。

# Q

結果的に意見は反映されていない。パブリックコメントが行政による「市民参加のარიバイづくり」であってはならない。市庁舎整備計画では、設計についてのパブリックコ



多田 伸治

# A

コメントも年末までに実施される。ここでもシビックセンターへの移転について意見があると考え、どう受け止めるのか。

意見を出されるのは結構だが、決定の範囲内でもより良い新庁舎を建てなければならぬ。その観点から意見を出してもらい、「そうだよな」と言える意見は取り入れていく。



江津警察署東隣の新庁舎建設予定地

# Q

三江線廃止にともなう  
JR西日本との  
交渉状況は

# A

交渉中で詳細については開示されていない

# Q

三江線廃止後の代替交通の初期費用はどうなるのか。

# A

9月議会に提案している補正予算案では、回転場・バス停・駐輪場などの整備費や、運行に必要なバスの購入費を計上しているが、JR西日本の負担については島根県が交渉している。

# Q

代替交通の運営費用について  
JR西日本の負担は。

# A

運営費用の交渉もこれから行われる。

# Q

来年4月には代替交通の運行が始まる。運行には財源確保が必要であり、しっかりとしたJR西日本との交渉を。持続可能な公共交通網を目指して交渉する。

# A



藤田 厚



鹿賀駅に停車中の三江線車両

**Q** 子育てサポートセンターの利用状況は

**A** オープン1年での利用がのべ7760人で2296人の増

**Q** パレット(うつのプレイロット(砂場などある屋外)をもっと自由に開放できないか。

**A** 建物の構造や衛生管理のため、解放は難しい。利用した場合は、気軽に子育てサポートセンターのスタッフへ声をかけてほしい。

**Q** 市内の施設や店舗へのベビーカー・授乳スペース・ベビーベッドの設置推進を。

**A** 新たに建設する公共施設では、「赤ちゃんほっとルーム」へ登録できる整備を行う。

**Q** 石央地場産業振興センターの外トイレの洋式化やベビーカーチェアなどの設置を。

**A** 「こどもまつり」は年1回のイベントなので、設備の工夫・協力して対応する。



子育てサポートセンターの外遊び場

**【ふるさとづくり寄付金】**

**A.Q.** ふるさと納税の周知を。活用実績を公開するとともに、チラシなどを設置してPRを行う。



鍛治 恵巳子

**Q** 介護予防で4月に開始された「総合事業」の活用増を

**A** 市内全圏域に事業所があり利用者も増えた

**A.Q.** 認知症への対応は。予防としては、健康教室や出前講座を通じての啓発活動、生活習慣病予防の指導などを行っている。対策としては、早期発見・早期治療に努め、認知症が疑われる方は認知症初期支援チームで対応している。

**Q.** 特定健診の結果を市民の健康づくりに活用しては。

**A.** 健診結果をどう活かすかが重要で、健診の結果で注意を要する人には、改善に向けての個別指導を実施している。また前年との比較や、「自分の健康は自分で守る」との意識付けをしていく。



「100歳体操」で健康づくり(都野津会館)

**A.Q.** 介護人材の確保は。介護職場の魅力を子どもの頃から伝える福祉教育の充実や、離職者の復帰を促す施策を検討している。



藤間 義明



**Q** 国民健康保険の広域化による市民への影響は

**A** 保険料の詳細は未定

**Q** 平成30年4月から、国民健康

保険の県への広域化が始まるが、背景と現状は。

**A** 平成27年5月に、持続可能な

医療保険制度を構築するための国民健康保険法の改正があり、国の財政支援のもと、県が財政運営の主体となり、市が市民に直接関わる業務を行う共同保険者となる。

**A** **Q** 広域化による市民への影響は、

10月に交付する保険証に説明文を同封する。平成30年度からの保険証には、県と市が表記される。保険料は、県が標準保険料率を示し、市が経費を加味して決定する。大きく上がる場合は激変緩和措置があるが、詳細は未定。



永岡 静馬

**【土地開発公社】**

**Q** 長年売れる見込みのない土地

が残っており、公社の借入金返済も負担となっている。今後の土地開発公社のあり方は、可能な限り土地を処分し、借入金を減らし、将来的には解散も視野に入れて判断をしたい。

**A**



土地開発公社所有の敬川リバーサイドタウン

**Q** 三江線の代替交通で、住民がづらい思いをしないよう確約を

**A** 減便してでも継続する

**Q** JR西日本は「三江線の代替

交通の初期費用の全額と一定期間の運行経費を支援する」「運行形態が決まれば協議する」としていた。代替バスの運行形態は定まった。JR西日本の負担額や負担期間を明確にすべきでは。

**A** 県がJR西日本との交渉窓口となっている。JR西日本の負担に対する本市の考え方は県へ示しているが、交渉状況について県からの回答はない。

**Q** 持続可能な地域公共交通網が構築できるのか。

**A** 「バス転換しても、すぐに廃止される」と危惧する声を聞いている。持続可能な公共交通とするため、沿線地域の住民と協議している。



森川 佳英

**Q** 代替バスが赤字になっても廃止することなく、二度と地域住民がづらい思いをしないよう、市が責任を持つとの確約を。

**A** 減便してでも継続するよう努力する。



廃線後の鉄道資産の扱いも未定(JR川平駅)



**Q** 人麻呂ゆかりの  
万葉の原風景保存を

**A** 小型風力発電施設設置  
へのガイドラインを定  
める

**Q** 人麻呂ゆかりの原風景につい  
て、本市の貴重な観光資源・  
文化遺産との認識はあるか。

**A** 本市では、平成26年に江津市  
景観計画を策定し、景観資源  
の一つに万葉景観を挙げている。  
歴史と文化を背景に、多  
くの万葉ファンが本市を訪れ  
る観光資源の一つと考える。

**Q** この原風景をなす市内の海岸  
線に、規制対象外の小型風力  
発電施設の建設計画が持ち上  
がった。住民の反対で中止と  
なったが、景観法で対応は可  
能か。

**A** 景観法では、届出者へ設計の  
変更などを勧告できるが、景  
観の観点で規制は難しい。



田中 利徳

**Q** 今後も風況の良い市内に計画  
が持ち上がると予測される  
が、本市としての対応は。

**A** 他の自治体では、環境と景観  
を保全するために、ガイドラ  
インで規制している例もある。  
本市も、景観審議会の意見  
をもとに、関係機関と協議  
しながら、早期に小型風力発  
電施設設置建設へのガイドラ  
インを定めたい。



柿本人麻呂ゆかりの万葉原風景(大崎鼻)

**Q** 中小・小規模企業振興  
条例制定により  
地域経済活性化を

**A** 平成30年4月の  
条例制定・施行を  
目指す

**Q** 物品の地元調達優先など、振  
興条例における市の責務は。

**A** 振興施策の策定や実施、関係  
団体などとの連携、中小・小  
規模企業の受注機会の確保  
に努めることなどを掲げる。

**Q** 事業承継を進めていくための  
具体的な取り組みは。

**A** 市内事業者アンケートで、回  
答のあった209事業所の8  
割で後継者が決まっておら  
ず、その半分が「自分の代で  
清算・廃業する」と回答。対策  
として、これまで以上に行政  
と関係機関が連携しての、事  
業承継の支援が必要。

**【神楽の継承・振興】**

**Q** 神楽の継承・振興を図るた  
め、企業・事業所の応援体制  
確立が必要。応援内容に応じ



坪内 涼二

事業所を、従事年数に応じ神  
楽従事者を表彰する「応援事  
業所制度」創設により伝統文  
化の継承・振興を。

**A** 石見神楽広域連絡協議会の  
「感謝状贈呈制度」を積極的に  
PRし、神楽の活動に協力を  
する企業を増やしていきたい。



江の川祭で上演された石見神楽「大蛇」



## 坂根正弘氏講演を拝聴

(全議員対象)

7月20日、島根県市議会議長会議員研修が行われ、13名の議員が参加しました。浜田市出身で、建設機械メーカー・コマツ相談役の坂根正弘氏による「日本の課題と地方創生」と題した講演を拝聴しました。



## 庁舎先進地視察

(市庁舎建設調査特別委員会)

7月13・14日、ここ数年で庁舎建設を行った兵庫県太子町、岡山県高梁市、広島県庄原市への先進地視察を行いました。今後の新庁舎建設に対して、議会として提案すべく、いずれの庁舎も大変参考になりました。



## 読者目線の広報誌を

(議会広報・情報公開対策特別委員会)

8月21日、島根県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。「月刊総務」編集長の豊田健一氏の「読者目線で親切的な広報誌を作るには」を聴講した後、各市町村発行の議会だよりを個別にチェックしていただきました。



## 江の川祭2017に参加

(市議会議員クラブ)

8月16日、江の川祭が盛大に開催されました。市議会議員クラブ14名で江津市音頭パレードに参加しました。今年は江津グルメグランプリやごうつBoy&ごうつGirlコンテストなどで大いに盛り上がりました。



## 表紙 阿刀城跡へつづく小径

2016年8月発行分より各編集委員が『江津にある素晴らしいもの、自慢のできるもの』をテーマに表紙を飾っています。

今回は、跡市町にある阿刀城跡へつづく小径を紹介いたします。今年3月に跡市地区まちづくり協議会主催で開催された交流イベントA-TAB（あいたび）に参加した都会の方が「まるで京都嵐山の竹林トンネルみたい」と絶賛した小径です。地元の方はあまり見向きもしなかったのですが、思わぬ収穫でした。



### 阿刀城の歴史

阿刀城は、跡市町にある寺院『慈照坊』の高手にある小山の頂上付近にあったとされます。歴史を紐解くと鎌倉時代に代って守護地頭を各地に置き統治させるようになり、跡市の地頭には九州の菊池氏の一族である長瀬氏が就き、阿刀城を拠点とし代々跡市を治めていきました。南北朝時



阿刀城跡とされる場所

（参考文献／跡市小開校記念誌）

代に移ると、皇室が足利尊氏の画策により分裂し、南朝側、北朝側に分かれての争いが次々と起こるようになり、石見の地も例外ではなく、阿刀城城主長瀬八郎は南朝側につき、北朝側について邑智小笠原氏との戦いに臨み、そこで大いに功をあげたという記録が残っています。旧跡市中学校の校歌に「霞立つあとの城あと花吹雪」といった歌詞があったように跡市地区民の皆さんに親しみのある場所でもあります。

### 議会を 傍聴しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越し下さい。

### 議会へ 参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができ、陳情とは、特定の事項について議会など、に実情を訴え、適切な措置を要望することです。

## 次回12月定例会

請願・陳情締切／11月28日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
			委員会 (議会運営)	全員協議会		
3	4	5	6	7	8	9
		委員会 (議会運営)		本会議	議員連絡会	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	委員会 (総務文教)	委員会 (建設厚生)	
17	18	19	20	21	22	23
	委員会 (予算)	情報交換会		本会議		
24	25	26	27	28	29	30

## 編集後記

9月定例会は、毎年決算議会と言われ前年度の事業がきちんと行われたどうか議員でチェックを行います。今回「パレットごうつ」事業について目標以上の来客数はあっても周辺の活性化につながっていないのではないかと指摘もあり、市執行部各議員考え方がそれぞれあることが表面化しました。多分市民の皆さんも評価は様々であると思います。そういった意味では、これから始まる新市庁舎建設に向けては、市職員、議員、市民の皆さんそれぞれの思いを集約し、後世に悔いの残らない立派なものを創り上げていくことが大事なのではないでしょうか。市民の皆さんもしっかりと意見を述べていただきたいと思います。

(森脇 悦朗)

#### 編集・発行責任者

議長 田中 直文

#### 議会広報・情報公開対策特別委員会

委員長 河野 正行

副委員長 坪内 涼二

委員 鍛治 恵巳子

委員 多田 伸治

委員 藤間 義明

委員 森脇 悦朗